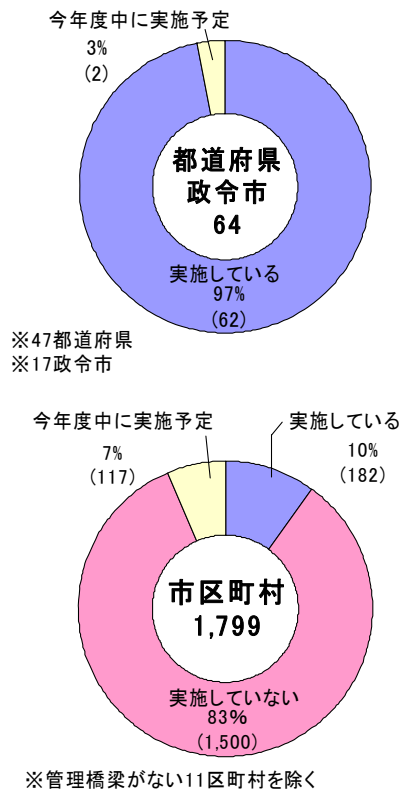


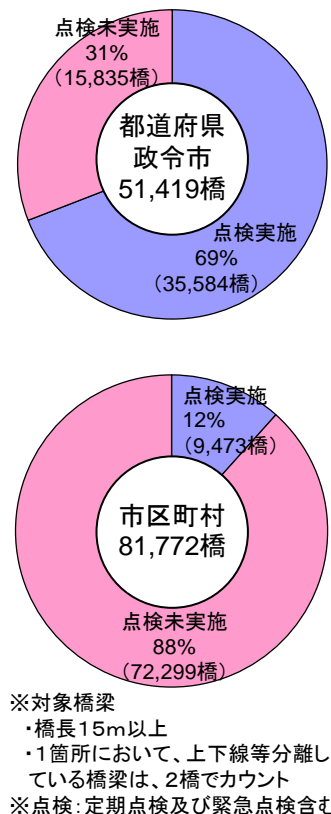
地方自治体の状況

- ・ 道路橋の定期点検について、都道府県及び政令市ではほぼ実施しているが、市区町村では約83%が未実施。
- ・ 過去5年以内の点検は、都道府県及び政令市の全管理橋梁51,419橋のうち、約69%を実施。市区町村では、全管理橋梁81,772橋のうち約12%を実施。
- ・ 市区町村で定期点検を実施していない主な理由は、約65%が技術力不足、約62%が財政的な問題、約50%が技術者の人材不足(複数回答集計結果)。
- ・ 橋長50m未満の橋梁が都道府県及び政令市では約66%、市区町村では約83%。
- ・ 維持・修繕費は都道府県及び政令市で71万円/橋・年だが、市区町村では8万円/橋・年。

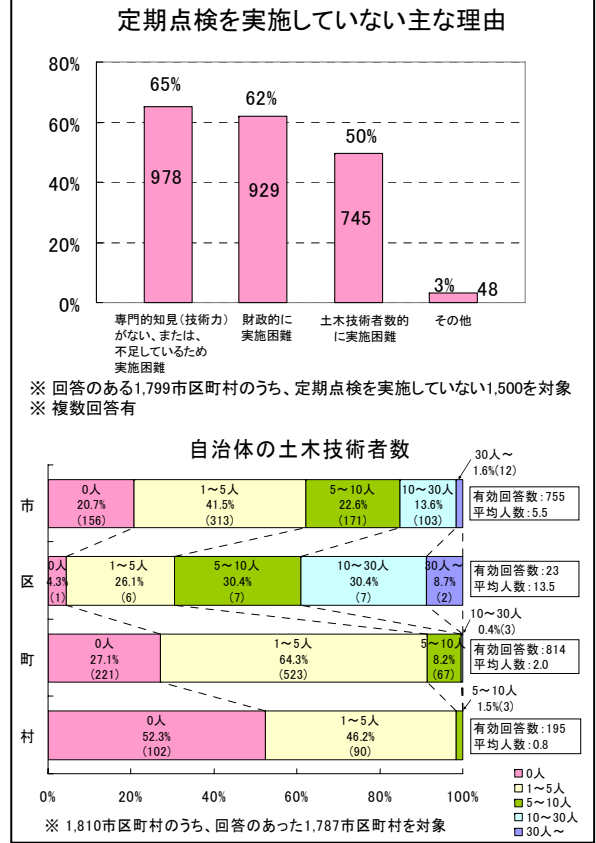
【定期点検の実施状況】



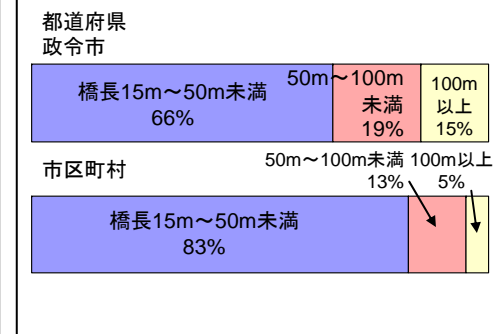
【過去5年以内の点検】



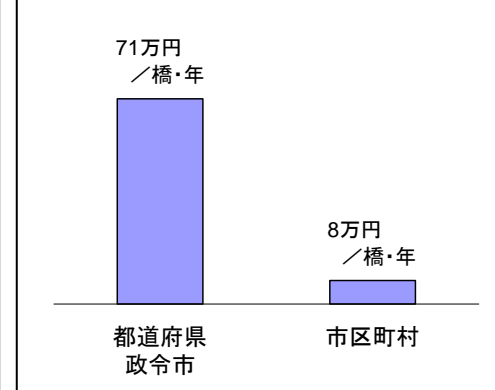
【市区町村の状況】



【橋梁規模】



【年間維持・修繕費】



- ・具体事例として、4自治体の御協力を得て、橋梁管理状況を調査。
- ・東京都では、昭和62年度から蓄積された点検データを活用し橋梁の長寿命化を推進(修繕費約60億円)。
- ・新潟県では、塩害対象橋梁等を重点的に管理。管理橋梁数は多いものの修繕費は不足(修繕費約7億円)。
- ・浦安市では、東京都の点検要領に準拠した点検を実施し、データ等を蓄積中。
- ・土岐市では、基礎的なデータを収集し、重点的に管理すべき橋梁の長寿命化修繕計画を策定予定。

項目	東京都	新潟県	千葉県浦安市	岐阜県土岐市
道路管理延長	2,251km	5,388km	225km	485km
管理橋梁数	1,248橋 うち、橋長15m以上:670橋	3,853橋 うち、橋長15m以上1,443橋	41橋 うち、橋長15m以上9橋	346橋 うち、橋長15m以上58橋
道路管理担当職員数(職員1人当り)	447人 (道路管理延長:5km/人 管理橋梁数:34橋/人)	146人 (道路管理延長:37km/人 管理橋梁数:26橋/人)	24人 (道路管理延長:9km/人 管理橋梁数:2橋/人)	5人 (道路管理延長:97km/人 管理橋梁数:69橋/人)
橋梁管理担当者数	37人	35人(他業務と兼務)	2人	2人(他業務と兼務)
点検頻度	1回/5年	・補助国道:1回/10年、県道:1回/15年 ・塩害対象橋梁(路線種別にかかわらず海岸線から2km以内):1回/5年	1回/5年	・重点的管理橋梁:1回/5年
準拠基準等	橋梁の点検要領 東京都建設局(H19)	橋梁点検要領(案) 建設省土木研究所(S63)に準拠	橋梁の点検要領 東京都建設局(H19)に準拠	道路橋に関する基礎データ収集要領 (案) 国総研(H19)
点検者	コンサルタント	コンサルタント	コンサルタント	コンサルタント
点検方法	・可能な限り近接目視 ・必要に応じて点検車等を利用	・遠望目視を基本とし、可能な範囲で近接目視	・可能な限り近接目視 ・必要に応じて点検車等を利用	・桁端部や支承部などは、出来るだけ近接して調査 ・近接が困難な調査箇所は遠望目視
点検調査項目	・31項目(鋼部材の腐食他) ・損傷程度の評価:5段階評価 ・橋梁毎に総合健全度を判定(安全性、耐久性に着目)	・32項目(鋼部材の腐食他) ・損傷程度の評価:5段階評価	・31項目(鋼部材の腐食他) ・損傷程度の評価:5段階評価 ・橋梁毎に総合健全度を判定(安全性、耐久性に着目)	・18項目(鋼部材の腐食など) ・腐食、ひびわれ、床版ひびわれは5段階判定 ・残り15項目は損傷の有無を判定
橋梁管理予算(年間)	・橋梁点検:6,000万円(24万円/橋)※ (点検橋梁の平均橋長81m) ・修繕:約60億円	・橋梁点検:1,500万円(10万円/橋)※ (点検橋梁の平均橋長63m) ・修繕:約7億円	・橋梁点検:500万円(45万円/橋)※ (点検橋梁の平均橋長60m) ・維持:約100万円	・橋梁点検:106万円(15万円/橋)※ (点検橋梁の平均橋長31m) ・維持:約300万円
橋梁維持・修繕等の主要内容	・長寿命化 ・耐震性強化、耐荷性強化 ・鋼橋塗装の塗替え、橋面舗装	・鋼橋塗装の塗替え、桁補修 ・床版補修、橋面舗装・防水 ・高欄補修	・防護柵、高欄等の簡易補修	・鋼橋塗装の塗替え ・伸縮装置取替え ・高欄・舗装の軽微な補修

※橋梁点検費:コンサルタント等への委託費 点検単価(円/橋)=委託費/点検実施橋梁数

東京都

- ・昭和62年度から橋梁の定期点検を実施。
- ・平成16年より道路アセットマネジメントシステムの導入検討を開始し、試行運用中。

【橋梁点検の概要】

道路・橋梁管理の概要

- ・道路パトロールカーで定期的に巡回し、小補修等を実施
- ・昭和63年3月に橋梁の点検要領を制定
- ・5年に1回のコンサルタントによる定期点検を実施

人口・予算規模等

- ・人口 約1,258万人 (H17年10月現在)
- ・一般行政職員 約21,000人 (H19年4月1日現在)
- ・財政規模 一般会計 6.6兆円 (H19年度当初予算)
うち 土木費4,560億円、道路補修費160億円

項目	内容
点検頻度	1回／5年
基準	橋梁の点検要領「東京都建設局(H19)」
点検者	コンサルタント
調査方法	・可能な限り近接目視 ・必要に応じて点検車や船等を利用
調査項目及び評価	・31項目(鋼部材の塗装劣化など) ・部材ごとに損傷程度を5段階で評価(a～e) ・構造体毎に耐久性と安全性の2つの指標値を求め、評価判定図を用いて5段階で判定(A～E)し、橋梁毎に総合健全度を決定 〔耐久性: 損傷や変状の程度から判定 安全性: 示方書、交通量、供用年数から判定〕

項目	内容
道路管理延長	2,251km
管理橋梁数	1,248橋 うち、橋長15m以上670橋
橋齢50年以上の橋梁数	2007年: 74橋、2027年: 379橋 (橋長15m以上)
道路管理担当職員数 (道路管理職員1人あたり)	447人 (道路管理延長: 5km／人、管理橋梁数: 34橋／人)
橋梁管理体制	橋梁管理担当者: 37人
橋梁管理予算(年間)	橋梁点検: 6,000万円(24万円／橋)、橋梁修繕: 約60億円
維持修繕等の主な内容	長寿命化、耐震性強化、耐荷性強化、鋼橋塗装塗替、橋面舗装

新潟県

- ・昭和 60年から橋梁の定期点検を実施。
- ・今年から3ヶ年で長寿命化修繕計画を策定し、継続的な道路・橋梁管理体制の構築へ向けてスタート。

道路・橋梁管理の概要

- ・県の地域機関が日常的な道路パトロールを担当し、小補修等を実施
- ・冬期には、補助事務員を採用して除雪事務に対応
- ・昭和60年から、橋梁の定期点検を開始
- ・平成7年から、土研の橋梁定期点検要領(案)に準拠した点検を実施

人口・予算規模等

- ・人口 約240万人 (H19年11月現在)
- ・一般行政職員 約6,800人 (H18年4月1日現在)
- ・財政規模 一般会計 1.2兆円 (H19年度当初予算)
うち 土木費1,846億円、道路補修費57億円

【橋梁点検の概要】

項目	内容
点検頻度	補助国道: 1回/10年、県道: 1回/15年 塩害対象橋梁(路線種別にかかわらず、海岸線から2km以内): 1回/5年
基準	橋梁点検要領(案)「建設省土木研究所(S63)」に準拠
点検者	コンサルタント
調査方法	・遠望目視を基本とし、可能な範囲で近接目視
調査項目及び評価	・32項目(鋼部材の腐食・亀裂など)

項目	内容
道路管理延長	5,388km
管理橋梁数	3,853橋 うち、橋長15m以上1,443橋
橋齢50年以上の橋梁数	2006年: 70橋、2026年: 728橋 (橋長15m以上)
道路管理担当職員数 (道路管理職員1人あたり)	146人 (道路管理延長: 37km/人、管理橋梁数: 26橋/人)
橋梁管理体制	橋梁管理担当者: 35人(他業務と兼務)
橋梁管理予算(年間)	橋梁点検: 1,500万円(10万円/橋)、橋梁修繕: 約7億円
維持修繕等の主な内容	再塗装、桁補修、床版補修、高欄補修、橋面舗装・防水

千葉県浦安市

- ・橋梁の定期点検は、昨年までに管理橋梁41橋全てについて1回目の点検を終了。
- ・今後、長寿命化修繕計画の策定を検討。

道路・橋梁管理の概要

- ・路面について、パトロールカー1台で週1回程度の路面調査を実施
- ・橋梁について、職員が適宜自転車等により現地を見て対応
- ・5年に1回のコンサルタントによる点検を実施
- ・東京都建設局の橋梁の点検要領に準拠した点検を実施

人口・予算規模等

- ・人口 約15万9千人(H19年10月現在)
- ・一般行政職員 約690人(H18年4月1日現在)
- ・財政規模 一般会計 534億円(H19年度当初予算)
うち 土木費62億円 道路維持費7億円

【橋梁点検の概要】

項目	内容
点検頻度	1回/5年
基準	橋梁の点検要領「東京都建設局(H19)」に準拠
点検者	コンサルタント
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り近接目視 ・必要に応じて点検車や船等を利用
調査項目及び評価	<ul style="list-style-type: none"> ・31項目(鋼部材の塗装劣化など) ・部材ごとに損傷程度を5段階で評価(a~e) ・構造体毎に耐久性と安全性の2つの指標値を求め、評価判定図を用いて5段階で判定(A~E)し、橋梁毎に総合健全度を決定 <ul style="list-style-type: none"> 〔耐久性: 損傷や変状の程度から判定〕 〔安全性: 示方書、交通量、供用年数から判定〕

項目	内容
道路管理延長	225km
管理橋梁数	41橋 うち、橋長15m以上9橋
橋齢50年以上の橋梁数	2006年:0橋、2026年:6橋(橋長15m以上)
道路管理担当職員数 (道路管理職員1人あたり)	24人 (道路管理延長:9km/人、管理橋梁数:2橋/人)
橋梁管理体制	橋梁管理担当者: 2人
橋梁管理予算(年間)	橋梁点検:500万円(45万円/橋)、橋梁維持費:約100万円
維持修繕等の主な内容	防護柵、高欄等の簡易補修

岐阜県土岐市

- ・平成15年度に橋梁点検を実施し、基礎的な準備を開始。
- ・重点的に管理する橋梁を重要路線から選定し、点検結果から要補修橋梁を早期に確認するとともに、長寿命化修繕計画を策定。
- ・今後、点検・補修等による管理のレベルアップを図り、計画的な維持管理の実現を目指す。

道路・橋梁管理の概要

- ・土木課に道路・河川を担当している技術職員5名が在籍
- ・住民からの要望が年間1,000件以上あり、全員でその対応を実施
- ・現状では、橋梁専属職員の配属・育成が困難
- ・今後、道路ネットワーク機能を重視し、重点的に管理する橋梁を選定し、従来の管理をレベルアップして安全性を高める予定

人口・予算規模等

- ・人口 約6万3千人 (H19年11月現在)
- ・一般行政職員 約380人 (H19年4月1日現在)
- ・一般会計 178億円 (H19年度当初予算)
うち 土木費30億円、維持補修費1.7億円

【橋梁点検の概要】

項目	内容
点検頻度	重点的管理橋梁:5年毎
基準	道路橋に関する基礎データ収集要領(案)H19を採用
点検者	コンサルタント
調査方法	・桁端部や支承部などは、出来るだけ近接して調査 ・近接が困難な調査箇所は遠望目視
調査項目及び評価	・18項目(鋼部材の腐食など) ・腐食、ひびわれ、床版ひびわれは5段階判定 ・残り15項目については損傷の有・無を判定

項目	内容
道路管理延長	485km
管理橋梁数	346橋 うち、橋長15m以上58橋(うち重点的管理橋梁35橋)
橋齢50年以上の橋梁数	2006年:9橋、2026年:30橋 (橋長15m以上)
道路管理担当職員数 (道路管理職員1人あたり)	5人 (道路管理延長:97km/人、管理橋梁数:69橋/人)
橋梁管理体制	橋梁管理担当者: 2人(他業務と兼務)
橋梁管理予算(年間)	橋梁点検:106万円(15万円/橋)、橋梁維持費: 300万円
維持修繕等の主な内容	鋼橋塗替、伸縮装置取り替え、高欄・舗装の軽微な補修等